

(科目名) 現代経済学		担当教員：伊藤好一	2単位
設 題			
<p><提出方法：インターネット提出></p> <p>以下の課題すべてに解答しなさい。解答文字数は設問ごとに指示する。</p> <p>問1 GDPの実際の動きをみるとき、名目GDPよりも実質GDPの方がより有効であると考えられる。その理由について<u>300字以内</u>で説明しなさい。</p> <p>問2 マクロ経済学では、金融政策は国内市場のさまざまな面に直接的・間接的に影響を与えるものと考えられている。しかし、とある状況下では金融政策が無効化する（効果を発揮しない）とも考えられている。そのような状況の名称および「金利」「貨幣需要」という言葉を用いてそのような状況の内容について<u>300字以内</u>で説明しなさい。</p> <p>問3 ハロッド＝ドーマーの経済成長モデル基本式によれば、資本係数が5、貯蓄が50、GDPが200であるときの経済成長率は何パーセントになるのか、その値を答えなさい。また、計算過程も必ず記載すること。</p> <p>問4 近年、日本の円相場は円安方向に推移しているが、①「金利」という言葉を用いて円安の要因について、②円安による日本国内市場の変化について、③円高に誘導するために有効であると考えられる政策について説明しなさい。①～③それぞれの説明であることがわかりやすいように記述すること。また、解答文字数は①～③を合わせて<u>400字以内</u>とする。</p>			
作成方法は、ワープロ			
ワープロ	用紙等：WordやPDFファイルで保存してインターネット科目試験ページから提出		
文字数等	設問ごとの指示に従うこと		